茨城桜友

日本大学

発行・編集
茨城桜友
編集委員会

発行責任者
磯崎 強

茨城桜友第二十八回総会開催

役員改選磯崎支部長を再任

幹事に桜井氏会計監事菅原氏を選出

茨城桜友第二八回総会は平成二五年八月一七日（土）笠間市のホテル・イオ・アルフェラッツ内「ものみ茶屋」に於いて開催された。開催地は県北を探したが結果は県央の笠間会場になった。役員改選では磯崎支部長が再任され幹事に桜井氏、会計監事に菅原氏が選出され、今後の活躍が期待されている。

午前十一時、大和田副支部長の司会進行で始まった。白土顧問の指揮で校歌斉唱し、磯崎支部長の挨拶、その後議長に白土顧問を選出し議事に入る。支部長から平成二四年度の事業報告、薄田会計担当から会計報告、小松崎監事から監査報告があった。

続いて平成二五年度の事業計画が支部長から提案され承認された。

総会の主な協議内容。

①支部会報の充実と発行部数と送付増を目指す。

②新会員の勧誘、支部会報と入会案内を送付。

③行事は総会開催場所を含めて参加し易い工夫をする。

④関東ブロック大会と本部総会へは積極的に参加する。

⑤役員改選では磯崎支部長を再選、新幹事に桜井氏、会計監事に菅原氏が選出された。

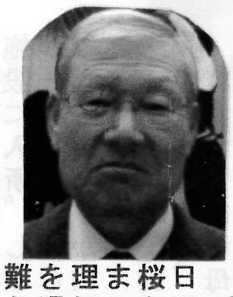
25年度 議案審議中の↑桜友総会

総会↓参加者

✪予定していた議事はすべて終了。養田幹事の閉会の言葉で議事終了。その後、場所を変え和気藹々とした雰囲気のなか食事会で親睦を深めた。最後に記念撮影写真を撮り再会を約束し散会した。（記事 大和田）

桜友会の問題点を克服

支部長 磯崎 強



ご挨拶

日頃から茨城桜友会に対しまして深いご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。会を代表してお礼申し上げます。

平成二五年八月の総会において再度支部長を仰せつかりこれといっての成果を上げることなく一年が過ぎてしまいました。この間、現状よりも一歩でも前進をと進めてきましたがなかなか思うようにはいきませんでした。基本的には多くの会員の参加がないとどうしても成しえません。

新役員に新風を期待

今回の役員改選では二名の方に新しく役員を引き受けて頂きました。新風を入れて頂ければと思います。

桜友会では、これまで一部の卒業生が中心となって活動を行って参りました。役員会は会員の輪を広げ、会員相互の親睦を深め多くの出、必要があるとの意見が多くの経緯を踏まえ、この意見のような経緯を踏まえ、本部から届いた名簿を、現在、本部に入会案内、支部会報、入会返信ハガキ、発行の会報、などをお届けしています。しかし、入会者、総会等の参加者は多くありません。

今後の活動

この現状を踏まえ取り組んで参ります。

①新規会員の加入を図り拡大したいと思います。

②会報「茨城桜友」を会員に発送し情報交換の場となるようにします。

③外部行事本部、関東ブロック総会等に積極的に参加することが必要です。

今後も問題点を克服して参りたいと思います。知り合いの卒業生に声をかけていただければと思います。

最後に皆様のご活躍とご健康を心からご祈念申し上げ、役員を代表し、ご挨拶と致します。

関東ブロック総会千葉大会に参加

日曜開催に変え実施

千葉支部主催の関東ブロック第三四回総会は平成二五年一〇月二七～二八日千葉県「犬房崎ホテル」で開催された。茨城から支部長磯崎、井上、小松崎の三名が参加した。千葉大会は開催日を土曜日曜から日曜月曜に変え、あらたな取り組みを計るなど今後の開催に参考になった大会であった。次回三五回記念大会は栃木県支部主催で開催される。

関東ブロック総会千葉主催大会は、地球が丸く見える町千葉県銚子市内「犬房崎ホテル」にて三六名の参加者をえて開催された。

総会前に顧問・相談役会が開催され関ブロ副会長岡野の代理井上と支部長磯崎が出席した。

総会は主催者を代表して、千葉目黒支部長、金子関東ブロック長の挨拶に続き、白戸校友会会長の祝辞があった。議長を選出し議事に入り各県代表が支部の特徴、昨年度の活動報告、本年度の事業計画等の報告がされた。

関東ブロック長からの提案があり、①通信教育部校友会長の推薦委員には目黒千葉県支部長を選出した。

②次期関東ブロック長には金子現ブロック長を再任した。

③本部功労表彰候補については一一月三〇日までに本部へ提出する。

④総会の名称は「関東ブロック総会」と統一された。

⑤次期開催は栃木県が担当することに決定した。これら全会一致で承認された。

総会終了後、参加者全員の集合写真撮影を行った。

その後、天然温泉の温もりに、心と身体をリフレッシュした。そして夕食を兼ねた懇親会では新鮮な魚介と酒を頂き校友との会話をしながら至福の時間を過ごした。

二日目の見学では犬吠崎灯台の内部に入り屋上へ上がり太平洋を一望した。次にヤマサ醤油の見学。最後に昼食レストラン「うおっせ」で新鮮な料理を食べ、再会を誓い帰路に向かった。

次回の茨城支部主催の関東ブロック総会は平成二九年の予定です。

（記事 磯崎）

犬吠崎灯台にて↓ 磯崎 井上 小松崎

校友シグナル

✪二〇二〇年の夏季オリンピック、パラリンピック開催が東京に決まった。前回開催から五六年経つが経験や施設を有効に活かし史上最大規模で開催できると信じている。

✪世紀の祭典決定はスポーツ活性化のみならず、文化、建設業など、士気高揚が図られる。オリンピックが成長繁栄の起爆剤となって欲しい。

✪東日本大震災の被災地からも喜びの声が上がった。六年後のオリンピック開催時には破壊された故郷や犠牲者家族が苦難を乗り越えて、復興させた姿を全世界に示す絶好の機会となる。

✪スポーツ界では、若者の活躍が顕著である。水泳・卓球・陸上・体操、ゴルフ、テニス等、驚異的な記録や成果は若者に托したい。

✪日本大学田中理事長が日本オリンピック委員会JOCの副会長に就任された。日大は日本のスポーツ界をこれまで支え続けてきた。更なる躍進が期待できる。

✪相撲界は三〇歳で年寄りの業界。横綱白鵬が昨年秋場所前に有望な力士は誰と問われ「遠藤は さす が」と応えた。白鵬の見識は遠藤には早く小結・関脇・大関、更には待望の日本人横綱を期待する。

✪六年後の大相撲界で大活躍は際立つ解説、舞の海。土俵上には入幕時にまげが結えなかった遠藤は大横綱に変身。日大先輩、後輩の両者が名勝負の披露の座に居るだろう。

✪オリンピック開催の前年は日大創立一三〇周年記念の節目の年。茨城桜友の目標を達成させ、更に桜友会を発展させたい。

✪開催年の桜友総会では会員が参加したくなるように工夫し盛会に開催したいものだ。

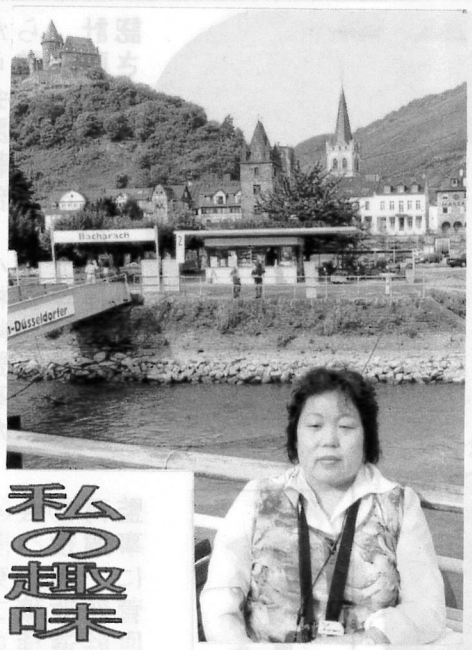
”オリンピック精神”は参加することに意義がある。健康管理を徹底して元気で桜友行事にも積極的に参加したい。

H・I

卒業した自信人生の支えに
ハワイスークリングで学ぶ
校友紹介シリーズ⑨　薄田美智子

スクーリングの思い出

私は、文理学部に入学をして、八年かけて昭和五九年度に卒業しました。家で勉強が出来るのでいいと思い通信教育に入りました。スクーリングが必須とわかり、ハワイスクーリングに参加。



↑ハワイで学んだ懐かしの写真

ハンバーガーが大きい、学食のゼリーが甘すぎる。二重ドアーロックのトイレなど驚きの連続でした。

夏季スクーリングではスキー同好会に入り、年末年始の蔵王合宿で二四時間以内の忘年会と新年会を経験しました。思いもかけず学生スキー大会に参加しちゃいました。

大学に入ったのだから教諭免許を取ろうと思い、期限ギリギリの卒業でした。在学中は校友と交わり人間的に成長できたと思います。レポート提出、試験では胃が痛くなりましたが卒業したと言う自信はその後の人生の支えになっています。

子育てと介護の日々

主婦になり二人目の出産から九ケ月で義父が脳梗塞から左半身不随になりました。義母と共に介護をしながら三人目を出産無我夢中で過ごした六年半でした。その後パートへ出、健康のためにテニスを始め現在も続いています。

下の子が高校を卒業して駅への送迎がなくなってホッとした頃、義母の介護が必要になり十ケ月くらい自宅介護して施設に入所。しばらくして父が一人では歩けなくなり肺炎で入院、わずか四日で死亡。介護に専念するため契約更新をせず退職、その二ケ月後義母が一週間の入院で亡くなりました。

母は父の一周忌が過ぎた頃から気力がなくなり、昨夏心臓肥大で入院し、今年一月永眠しました。

勉強してボランティア

社会と接点を持ちたいと思いカウンセリング講座を受講しました。コミュニケーション力のなさにコンプレックスがあるのですが、相手の話を良く聴き、寄り添うことで役に立てるのなら私にも出来るのではないかと思えました。もっと勉強して機会があればボランティアをしたいと考えています。

校友にひと言

何事にも真摯に取り組んでいる、現在桜友副支部長でもある薄田さんに校友へひと言伺いました。「勉強だけでなく校友との関わりも大切にして欲しいと思います」

昭和五九年文理学部卒

私の趣味
水墨画や虫飼い
趣味を通し地域と繋がり

法卒　櫻井　千春

好きな田舎暮らしで希望した職務は矢の如く終えた。退職後は別世界にいる感覚をしばらくの間味わい、若い時から「盆栽」で癒され救われたい。よく家内から言われた。盆栽は世界に普及されつつあるが、実に多くの国で見かける。

次に釣りです。海釣りは仲間とよく釣りを楽しみ、仲間がいないと時はなにも考えず、ただ海を眺めながらジッとしてレスを解消のしらの丘釣り、広い海を聴き、水墨画は墨画に切り控え、代替え大津波後のしてはく、紙替えに、実に白と競合で絵を表現し用し、素晴らし奥深く難しを目指す。作成をいを墨色と。絶対諦意識せず、目標心低画はいくの

掛けている。県庁友の会美術展納得しめたないを自分で

⇒櫻井さん鳴く虫展示会

虫仲間と共に展示会等や無料配布を行い、二百名ほどの子供達に毎年差上げている。

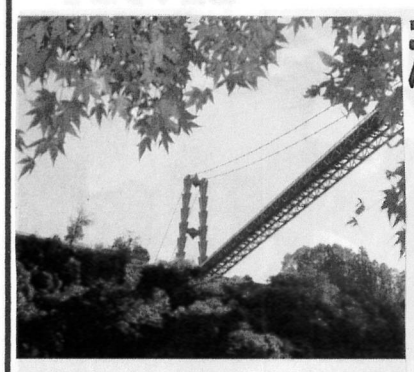
昨今、子供のいじめが問題となっているが、虫飼いを通して、諺の「一寸の虫にも五分の魂」の如く、子供達に生命の尊さ、生きる大切さを育てて行きたい。

現職時の仕事も楽しかったが、今も実に楽しく過ごさせて戴いている。笑うことができることは人間だけである。笑いは副交感神経を刺激し健康に良いとされる。これからも楽しい趣味等を通し、沢山の仲間と連帯し地域との繋がりを大事に人生を楽しく歩んで行きたい。

昭和五六年法学部卒

私たちの町自慢
竜神峡大吊橋高さ最大級
鯉のぼり千匹の雄姿

茨城県の奥久慈県立自然公園に位置し竜神ダムの上に竜神大吊橋はかけられ、歩行者専用の橋としては本州一で、各種行事は賑わっている。



恋する紅葉&新そばフェア
竜神峡 紅葉まつり

多様で豊かな新緑に覆われた山に囲まれた坂道を登って行くと、千匹の鯉のぼりが色鮮やかに峡谷を泳いでいた。

さっそく三百十円でチケットを買って、吊橋を渡ってみた。まったく揺れない。この吊橋は吊ってあるのかな？と思った。竜神大吊橋は常陸太田市に平成六年に開通した日本最大規模の歩行者用吊橋で橋長は三七五メートルある。湖面からの高さは百メートルである。竜神湖面から百メートルの空中散歩を楽しめ、四季折々の絶景大パノラマが広がる。

春に鯉のぼりまつり、夏には灯篭まつり、秋には紅葉まつり、冬には蕎麦まつりなどいろいろなイベントがくり広げられ多くの人々で賑わう。

橋にはガラス窓があって下を覗ける。スリル満点。落ちないと判っていても怖い。橋からバンジージャンプをしていた。見ている方が恐くて、寒くなる。勇気のある人は受付まで申し込むと良い。

この吊り橋は世界一の長さを誇る明石海峡大橋と同じ構造で竜神峡の伝説の竜が天に昇るイメージをデザインした主塔が美しい。周辺には良い撮影スポットがたくさんある。竜神大吊橋へも周遊できるハイキング道が整備され、亀ケ渕までは往復二時間。野鳥の声や美しい自然景観を楽しむことができる。

吊橋の周辺や沿道にはたくさん出店が出ていて、お買い物も楽しめる。鮎と蕎麦が土産には良いようだ。値段は下界より高いと思う。観光地だし山の上だから仕方ないか。

写真　常陸太田市観光協会
記事　養田久子

アンケート通信

支部総会のお知らせ

第二八回支部総会は来る八月二四日（日曜日）「笠間ホテル・イオアルフェラッツ」にて開催致します。皆様のご参加をお待ちしております。

ご意見ご要望連絡先

校友会活動等に関するご要望が御座いましたらご提案下さい。大歓迎です、また、友人、知人が居りましたら支部長礒崎迄で連絡下さい。

TEL〇二九・二七四・〇七六三
郵便　三一二―〇〇三二
住所　ひたちなか市津田二九五七番地

桜友役員紹介

平成二五年八月より役員を担当させて頂いております。皆様のご指導ご協力をよろしくお願い致します。

顧問	赤津	博
〃	白土	昌夫
〃	岡野	和多利
支部長	礒崎	強
副支部長	薄田	美智子
〃	大和田	勉
幹事長	井上	洋
幹事	山田	陽児
〃	養田	久子
〃	桜井	千春
会計監事	小松崎	孝光
〃	菅原	邦介

編集後記

会報「茨城桜友」第一四号をお届けします。A三紙面でお陰様で一〇号発行となりました。会報は茨城桜友の鏡であり、今後も継続発行と内容の充実を図って参りたいと存じます。マンネリを打破するためにも皆さんのご意見をお聞かせ下さい。

紙面構成や企画、投稿など皆さんのご寄稿をお待ちしてます。

櫻井さんが新たに編集委員に加わりました宜しくお願い致します。

編集　井上　洋
委員　養田久子
〃　礒崎　強
〃　桜井千春